

平成28年度第2回甲賀市下水道審議会 次 第

日 時:平成29年2月8日(水)

午後2時から

場 所:甲賀市役所甲南庁舎1階 第1会議室

甲賀市市民憲章唱和

わたしたちは「みんながつくる住みよさと活気あふれる甲賀市」を目指して、この憲章を定めます。

あふれる愛に あなたも仲間
いろどる山河と 生きいき文化
こぼれる笑顔に 応える安心
うみだす活力 受けつぐ伝統
かがやく未来に 鹿深の夢を

1. 開会のあいさつ

2. 議 題

- ①平成28年度甲賀市下水道事業会計決算見込について <資料 1>
- ②平成29年度甲賀市下水道事業会計予算案について <資料 2>
- ③甲賀市下水道事業経営戦略について <資料 3>
別冊 甲賀市下水道事業経営戦略(案)
- ④社会資本総合整備計画の事後評価について <資料 4>
別冊 社会資本総合整備計画事後評価書(案)

3. 会議内容の公開、非公開について

4. 閉会のあいさつ

平成28年度甲賀市下水道事業会計決算見込の概要

平成28年度の収益的収支については、水洗化世帯の増加、事業者の排水量の増加により、使用料収益は増加傾向で推移し、約1億6千万円の黒字を見込んでいます。機械設備の老朽化が進んでいることから、適切な下水処理のための施設維持管理を実施しました。

また、資本的収支については、酒人地区などの面整備や、勅旨・長野地区の污水幹線整備、希望ヶ丘地区の管更生などを実施し、収入を約15億8千万円、支出を約28億2千万円と見込んでおり、資本的収入が資本的支出額に不足する額約1.2億4千万円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、引継金、当年度損益勘定留保資金で補てんするものとします。

○収益的収支（污水を処理するための財源と費用）

決算見込額	収入	4,149,000千円
	支出	3,982,000千円
	差引	167,000千円

【収入】

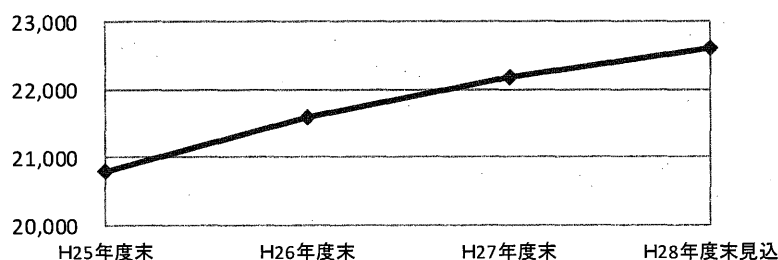
①使用料

公共	1,443,000千円
農排	133,000千円

接続件数の推移（単位：件）

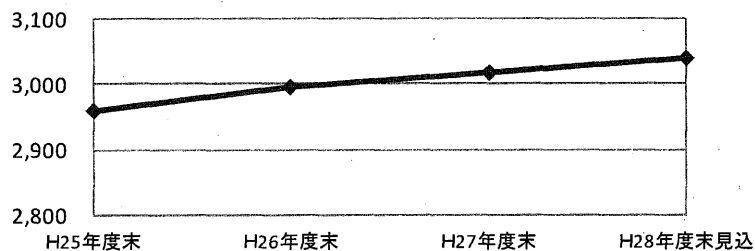
公共下水道

	件数
H25年度末	20,792
H26年度末	21,590
H27年度末	22,183
H28年度末見込	22,600



農業集落排水

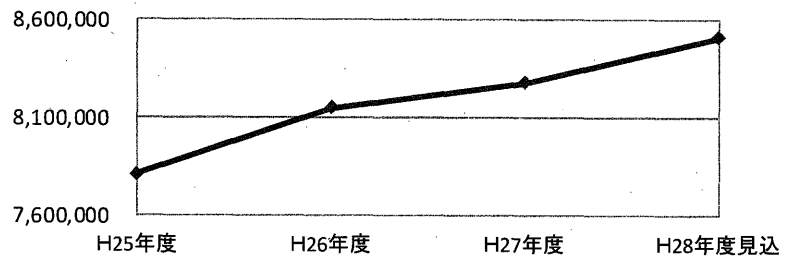
	件数
H25年度末	2,959
H26年度末	2,996
H27年度末	3,018
H28年度末見込	3,040



年間汚水量の推移 (単位：m³)

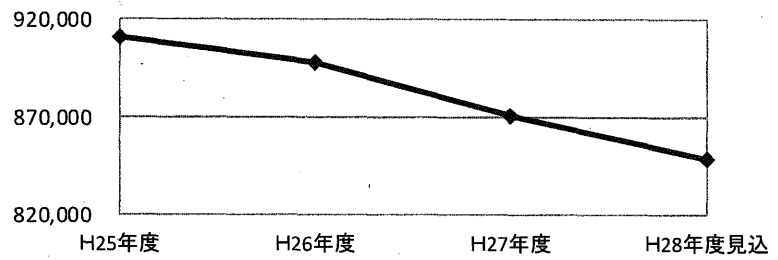
公共下水道

	汚水量
H25年度	7,809,679
H26年度	8,148,384
H27年度	8,278,520
H28年度見込	8,511,000



農業集落排水

	汚水量
H25年度	911,071
H26年度	897,673
H27年度	870,908
H28年度見込	849,000

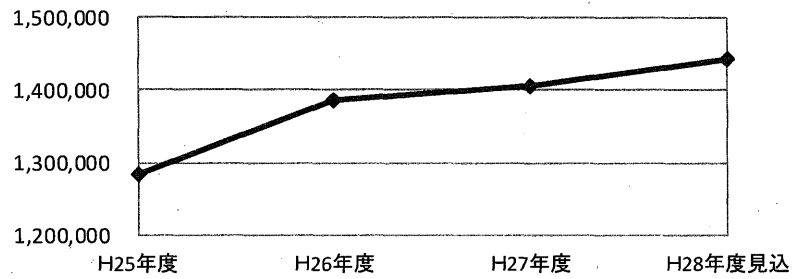


使用料収益の推移 (単位：千円)

公共下水道

	収納額
H25年度	1,283,080
H26年度	1,385,993
H27年度	1,405,135
H28年度見込	1,443,066

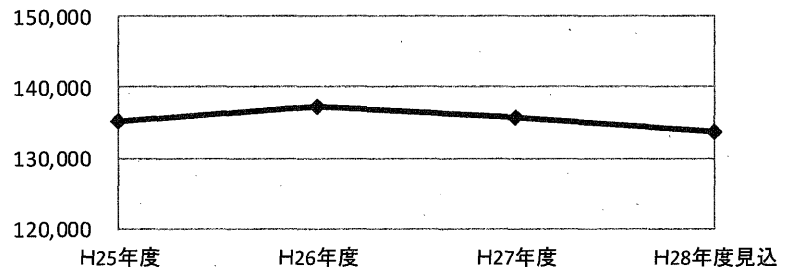
(H25～H27は現年度調定額)



農業集落排水

	収納額
H25年度	135,342
H26年度	137,379
H27年度	135,734
H28年度見込	133,654

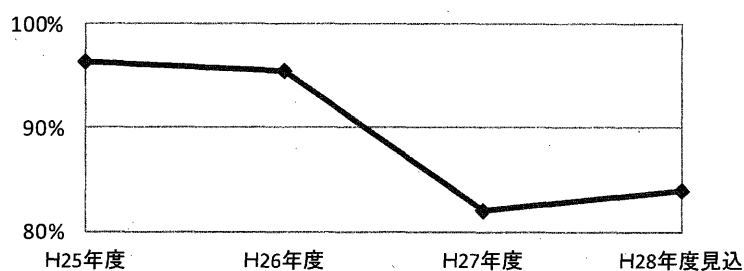
(H25～H27は現年度調定額)



使用料収納率の推移

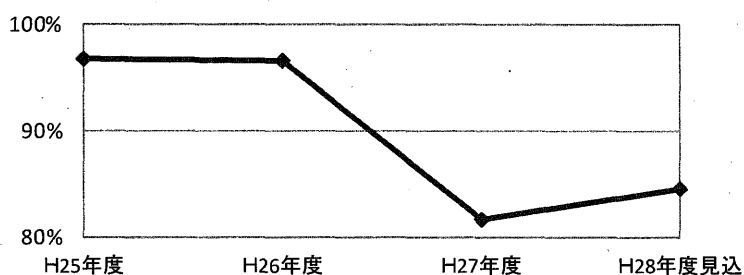
公共下水道

	収納率
H25年度	96.36%
H26年度	95.56%
H27年度	81.96%
H28年度見込	84.00%



農業集落排水

	収納率
H25年度	96.75%
H26年度	96.49%
H27年度	81.64%
H28年度見込	84.46%



②一般会計からの補助金等

公共	966,000千円
農排	461,000千円

③長期前受金戻入

公共	789,000千円
農排	263,000千円

【支出】（施設の維持管理等に係る経費）

①委託料

公共	133,000千円
農排	102,000千円

②修繕費

公共	35,000千円
農排	13,000千円

③動力費

公共	34,000千円
農排	45,000千円

④流域下水道維持管理負担金

公共	439,000千円
----	-----------

⑤減価償却費

公共	1,747,000千円
農排	486,000千円

⑥企業債利息

公共	505,000千円
農排	92,000千円

○資本的収支（下水道施設を整備するための費用と財源）

決算見込額	収入	1,578,000千円
	支出	2,822,000千円
	差引	△1,244,000千円

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額1,244,000千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額71,000千円、引継金182,662千円、当年度損益勘定留保資金990,338千円で補てんするものとする。

【収入】

①企業債

公共	493,000千円	(H27年度繰越含む)
----	-----------	-------------

②一般会計からの出資金

公共	592,000千円
農排	86,000千円

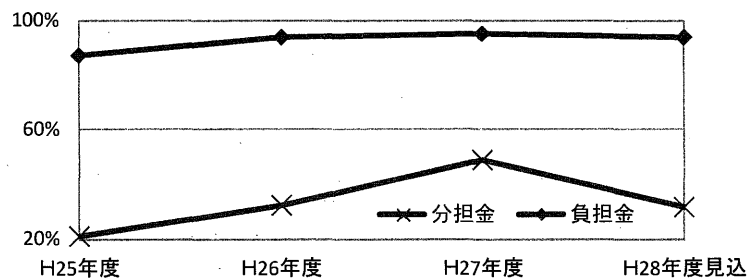
③受益者分担金及び負担金

公共	57,000千円
農排	300千円

分担金・負担金の収納率の推移

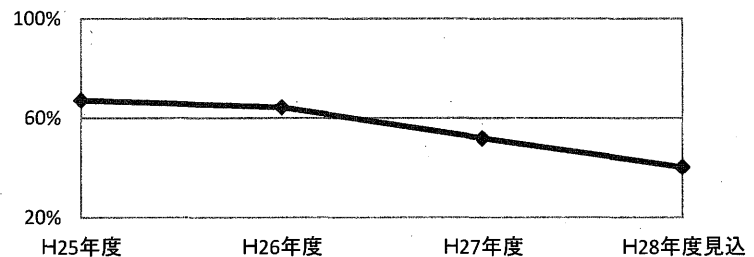
公共下水道

	分担金	負担金
H25年度	20.77%	87.25%
H26年度	32.58%	93.67%
H27年度	48.71%	95.28%
H28年度見込	31.50%	94.04%



農業集落排水

	分担金(滞納分)
H25年度	67.56%
H26年度	64.78%
H27年度	51.81%
H28年度見込	40.75%



④国庫補助金、県補助金

公共	349,000千円	(H27年度繰越含む)
----	-----------	-------------

【支出】(下水道管渠整備等の建設工事費用)

①委託料

公共[汚水]	41,000千円
長野地区信楽第一污水幹線実施設計業務委託	
勅旨・長野地区信楽第一污水幹線整備工事変更設計積算業務委託	
信楽第一污水幹線設計管理業務委託	
土山処理場長寿命化計画策定業務委託	
甲賀工業団地下水道設計業務委託	
希望ヶ丘地区下水道管更生実施設計業務委託	
公共[浸水]	6,000千円
中央雨水幹線詳細設計業務委託	

②工事費

公共[汚水]	646,000千円
酒人地区下水道面整備工事	
名坂北脇地区下水道面整備工事	
貴生川西内貴地区下水道面整備工事	
桜ヶ丘地区下水道面整備工事	
新城地区下水道面整備工事	
甲賀工業団地地区下水道面整備工事	
池田団地地区下水道面整備工事	
甲南駅前地区下水道面整備工事	
希望ヶ丘地区下水道管更生工事	
勅旨・長野地区信楽第一污水幹線整備工事	
公共污水ます設置工事	
池田団地地区下水道舗装復旧工事	
桜ヶ丘・第4水口台地区下水道舗装復旧工事 等	
陶芸の森交差点交通信号機復旧工事	
公共[浸水]	138,000千円
林口地区雨水幹線函渠整備工事	
貴生川雨水幹線整備工事	
甲南駅前線雨水管渠整備工事	
甲南駅前広場雨水管線整備工事	

③流域下水道建設負担金

公共	83,000千円
----	----------

④企業債元金償還金

公共	1,529,000千円
農排	291,000千円

平成 29 年度甲賀市下水道事業会計予算（案）の概要

平成 29 年度の下水道事業は、水洗化世帯の増加により使用料収入は増加を見込んでいますが、多額の企業債の償還が続くため、財政収支計画に基づいて、適正な維持管理と効率的な整備を図り、経営の安定に努めます。

維持管理においては、終末処理場や、管渠等の維持管理を行うとともに、上下水道料金お客様センターの業務委託を継続し、更なる住民サービスの向上と収納率の向上を目指します。また、収益改善のために未水洗化世帯への普及啓発を進めるとともに、維持管理経費がかさむ原因となる不明水対策調査を実施します。

施設整備においては、概ね 10 年での概成を目標に長野地区の汚水幹線整備、甲賀工業団地地区など、未整備地区の整備を継続的に行うとともに、希望ヶ丘地区において、老朽化した下水道管更生工事を継続して実施します。

○収益的収支（汚水処理するための財源と費用）

予算要求額	収入	4,104,000千円
	支出	3,969,000千円
	差引	135,000千円

【収入】

①使用料

公共	1,475,000千円	（前年度比 +20,000千円）
農排	133,000千円	（前年度比 △3,000千円）

②一般会計からの補助金等

公共	960,000千円	（前年度比 △30,000千円）
農排	454,000千円	（前年度比 △21,000千円）

雨水処理、分流式下水道、流域下水道の建設、不明水の処理、高度処理、高資本費対策、下水道事業債（特別措置分）の償還に要する経費 等

③長期前受金戻入

公共	789,000千円	（前年度比 +11,000千円）
農排	263,000千円	（前年度比 △27,000千円）

建設改良費の財源とした国庫補助金、県補助金、受益者分担金及び負担金、受贈財産の減価償却見合い分

【支出】（施設の維持管理等に係る経費）

①委託料

公共	160,000千円	（前年度比 +17,000千円）
農排	115,000千円	（前年度比 △ 1,000千円）

処理場施設維持管理業務委託、マンホールポンプ保守点検業務委託、
水質検査業務委託、管路施設清掃業務委託、緊急対応業務委託 等

②修繕費

公共	32,000千円	（前年度比 △ 2,000千円）
農排	24,000千円	（前年度比 △ 5,000千円）

マンホールポンプ、管路施設、処理場施設修繕 等

③動力費

公共	39,000千円	（前年度比 △ 1,000千円）
農排	52,000千円	（前年度比 △ 2,000千円）

マンホールポンプ、処理場電気代

④流域下水道維持管理負担金

公共	440,000千円	（前年度比 +10,000千円）
----	-----------	------------------

⑤減価償却費

公共	1,733,000千円	（前年度比 +14,000千円）
農排	442,000千円	（前年度比 △43,000千円）

建物、構築物、機械及び装置、施設利用権 等

⑥企業債利息

公共	478,000千円	（前年度比 △32,000千円）
農排	81,000千円	（前年度比 △10,000千円）

○資本的収支（下水道施設を整備するための費用と財源）

予算要求額	収入	1,723,000千円
	支出	2,988,000千円
	差引	1,265,000千円

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額1,265,000千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額84,000千円、過年度分損益勘定留保資金258,000千円、当年度分損益勘定留保資金923,000千円で補てんするものとする。

【収入】

①企業債

公共 645,000千円 (前年度比 △34,000千円)
流域下水道事業債、下水道事業債

②一般会計からの出資金

公共 525,000千円 (前年度比 △67,000千円)

農排 84,000千円 (前年度比 △2,000千円)

流域下水道建設、下水道事業債(特別措置分)の償還、分流式下水道に要する経費等

③受益者分担金及び負担金

公共 41,000千円 (前年度比 △25,000千円)

④国庫補助金、県補助金

公共 426,000千円 (前年度比 +30,000千円)

農排 500千円 (前年度比 +500千円)

【支出】(下水道管渠整備等の建設工事費用)

①委託料

公共[汚水] 83,000千円 (前年度比 +61,000千円)

土山処理場長寿命化設計業務委託

希望ヶ丘地区下水道管更生設計業務委託

長野地区信楽第一汚水幹線整備工事設計積算業務委託

長野地区下水道面整備設計業務委託

現場技術管理業務委託 等

公共[浸水] 20,000千円 (前年度比 △5,000千円)

水口中央雨水整備設計業務委託

②工事費

公共[汚水] 679,000千円 (前年度比 +28,000千円)

甲賀工業団地地区下水道面整備工事

甲賀工業団地地区下水道マンホールポンプ設置工事

柑子地区下水道面整備工事

甲南駅前地区下水道面整備工事

希望ヶ丘地区下水道管更生工事

葛木(町民運動場線)地区下水道面整備工事

長野地区信楽第一汚水幹線整備工事

長野地区下水道面整備工事 等

公共[浸水] 212,000千円 (前年度比 △78,000千円)
 林口雨水幹線整備工事
 貴生川雨水幹線整備工事
 中央雨水幹線整備工事
 甲南駅前広場雨水整備工事

③流域下水道建設負担金

公共 80,000千円 (前年度比 △5,000千円)

④企業債元金償還金

公共 1,523,000千円 (前年度比 △5,000千円)

農排 297,000千円 (前年度比 +7,000千円)

○一般会計繰入金の前年度比較(収益的収入、資本的収入)

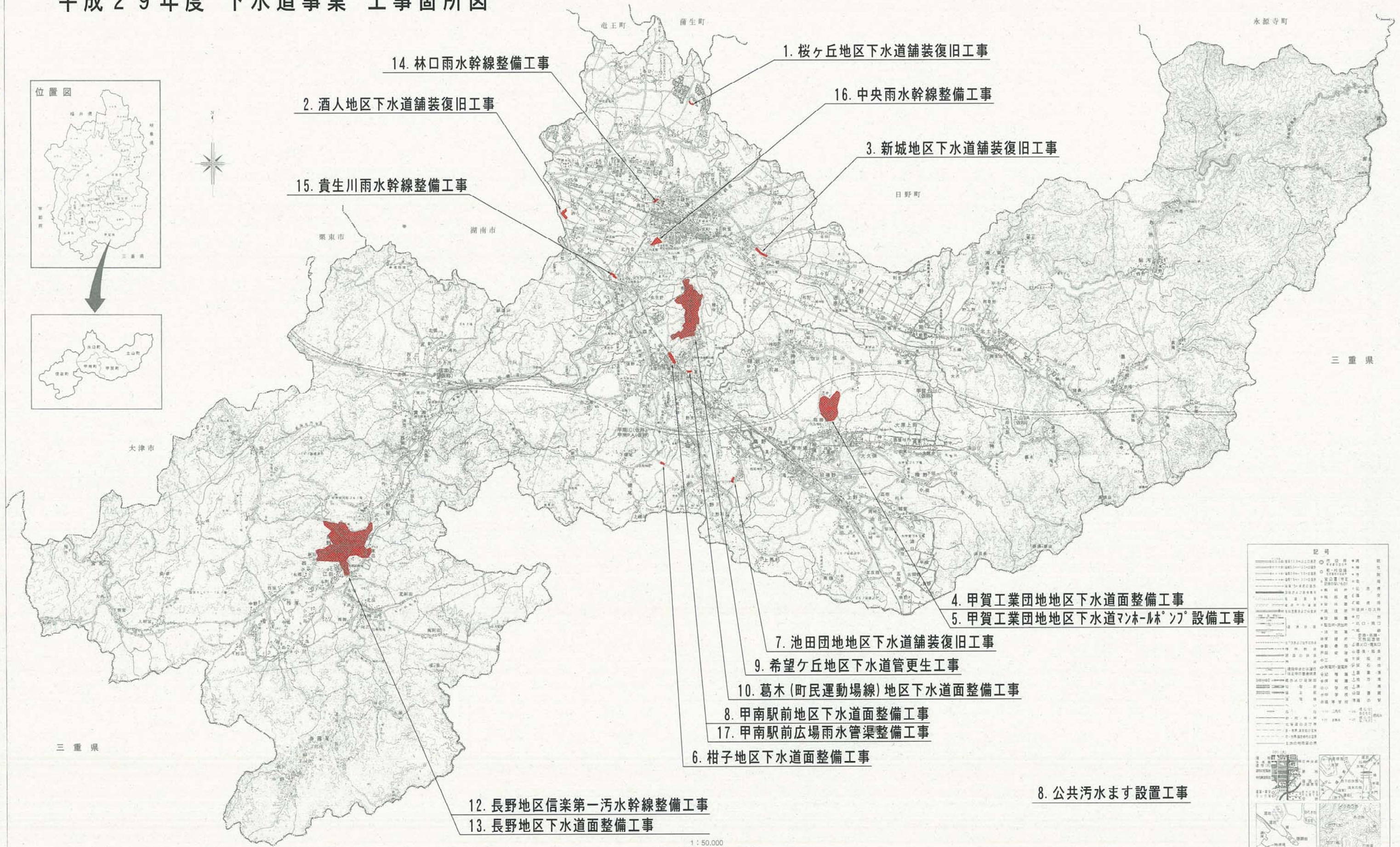
	H28(決算見込額)	H29(予算要求額)	増減
公共	1,559,082千円	1,486,000千円	△73,000千円
農排	548,179千円	539,000千円	△9,000千円
合計	2,107,261千円	2,025,000千円	△82,000千円

※ 平成28年度の繰入金決算見込額には、法適用初年度のみの繰入金(法非適分消費税及び地方消費税相当分、法非適分賞与引当金分)を、公共下水道事業で23,693千円、農業集落排水事業で5,978千円、合計29,671千円含んでいます。

平成29年度 下水道事業 工事等箇所一覧

	補助名	町名	番号	工事名	H29事業量	施工年度				
						H29	H30	H31	H32	H33
汚水	社会資本整備総合交付金	水口	1	桜ヶ丘地区下水道舗装復旧工事 (H18~)	舗装工 A=875㎡					
			2	酒人地区下水道舗装復旧工事 (H27~)	舗装工 A=3700㎡					
			3	新城地区下水道舗装復旧工事 (H28~)	舗装工 A=2200㎡					
		甲賀	4	甲賀工業団地地区下水道面整備工事 (H28~)	開削工 φ200~300 L=1600m					
			5	甲賀工業団地地区 下水道マンホールポンプ設備工事 (H28~)	マンホールポンプ 1式					
		甲南	6	柑子地区下水道面整備工事 (H29~)	開削工 φ200 L=170m					
			7	池田団地地区下水道舗装復旧工事 (H25~)	舗装工 A=1840㎡					
			8	甲南駅前地区下水道面整備工事 (H28~)	開削工 φ200 L=180m					
			9	希望ヶ丘地区下水道管更生工事 (H26~)	管更生工 φ200 L=2200m					長寿命化延伸 →
			10	葛木(町民運動場線)地区 下水道面整備工事 (H29~)	開削工 φ200 L=100m					
		全市	11	公共汚水ます設置工事	開削工ます設置 140箇所					
交付金	地方創生 整備推進 処	信楽	12	長野地区信楽第一汚水幹線整備工事 (H15~H21・H27~)	推進工 φ800 L=900m					
			13	長野地区下水道面整備工事 (H15~H21・H27~)	開削工 φ200 L=960m					
雨水	防災・安全 社会資本 整備交付金	水口	14	林口雨水幹線整備工事	開削工BOX□2000 L=70m					
			15	貴生川雨水幹線整備工事	開削工BOX □1200-3500 L=50m					
			16	中央雨水幹線整備工事	開削工BOX□1400 L=40m					
		甲南	17	甲南駅前広場雨水管渠整備工事	推進工 φ1000 L=79m					

平成29年度 下水道事業 工事箇所図



記号

○	甲賀工業団地地区下水道マンホール・ポンプ設置工事
●	甲賀工業団地地区下水道面整備工事
■	池田団地地区下水道舗装復旧工事
▲	希望ヶ丘地区下水道管更生工事
△	葛木(町民運動場線)地区下水道面整備工事
◇	甲南駅前地区下水道面整備工事
□	甲南駅前広場雨水管渠整備工事
▽	柑子地区下水道面整備工事
◇	長野地区信楽第一汚水幹線整備工事
◇	長野地区下水道面整備工事
○	桜ヶ丘地区下水道舗装復旧工事
○	酒人地区下水道舗装復旧工事
○	林口雨水幹線整備工事
○	貴生川雨水幹線整備工事
○	新城地区下水道舗装復旧工事
○	中央雨水幹線整備工事
○	公共污水ます設置工事

1 : 50,000

甲賀市下水道事業経営戦略の策定

公営企業においては、保有する施設の老朽化に伴う大量更新期の到来、人口減少に伴う料金収入の減少等により経営環境が厳しさを増してきています。そのような中、公営企業が提供する市民の日常生活に欠くことのできない重要なサービスを安定的に継続させるため、中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」の策定が平成26年8月に総務省から要請されました。

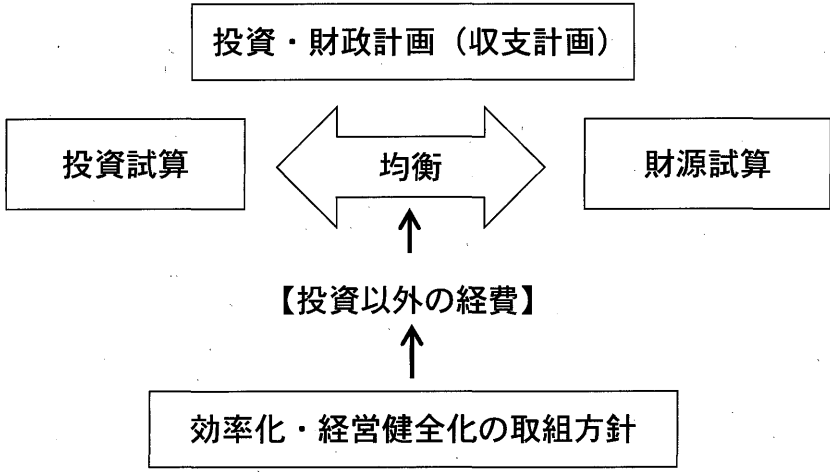
また、平成28年1月の総務省通知では、経営戦略策定の集中取組期間を平成30年度までとすることや「経営戦略ガイドライン」の公表とともに、経営戦略の策定を平成29年度からの下水道事業高資本費対策に要する経費に係る地方交付税の交付要件とすることが通知されました。

甲賀市下水道事業では、一般会計からの補助金として高資本費対策に要する経費を繰り入れていることから、その財源となる地方交付税の交付を受けるために、平成28年度中に経営戦略を策定する必要があります。

経営戦略の基本的な考え方

- 将来にわたって安定的に事業を継続していくための計画期間を10年以上とする
中長期的な経営の基本計画
- 「投資試算」(施設・設備に関する投資の試算)と「財源試算」(財源の見通し)
を均衡させた「投資・財政計画」(収支計画)が中心
- 効率化・経営健全化の取組方針を記載
- 3～5年毎に見直しを行い、適切な事後検証、更新を行う。

《経営戦略のイメージ》



社会資本総合整備計画の事後評価について

1. 下水道整備に係る補助金と整備計画

○ 社会資本整備総合交付金(下水道事業)

社会資本整備総合交付金は、国土交通省所管の地方公共団体向け個別補助金を一つの交付金に原則一括し、地方公共団体にとって自由度が高く、創意工夫を生かせる総合的な交付金です。

社会資本整備総合交付金を活用するために、目標や期間、実施する事業内容を取りまとめた**社会資本総合整備計画**を作成することになっています。

2. 整備計画の事後評価について

整備計画は、事業期間の終了後、事業効果の発現状況、計画時に設定した目標の達成状況について、委員会を設置し事後評価を行い、その結果を公表することとされています。

3. 事後評価項目

- I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況
- II 定量的指標の達成状況
- III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況(必要に応じて記述)
- IV 特記事項(今後の方針等)

4. 今回事後評価の必要な計画

【計画の名称】

甲賀市における良好な水環境の形成、市街地の浸水対策の実現

【計画の期間】

平成23年度～平成27年度(5年間)一部平成28年度～繰越

【計画の目標】

下水道整備を行い、浸水対策を実施することにより、水害に強い町を作るとともに、安全・安心、快適な生活環境を実現する。

【計画の成果目標(定量的指標)】

- ・ 下水道処理人口普及率を66.9%(H23)から76.9%(H27)に増加させる。
- ・ 下水道による都市浸水対策達成率を15.4%(H23)から15.5%(H27)に向上させる。

5. 定量的指標の定義及び算定式と目標値・実績値

① 下水道処理人口普及率

下水道を利用できる人口(人) / 総人口(人)

当初現況値(H23当初) 66.9%(61,608人 / 92,127人)

最終目標値(H27末) 76.9%(70,877人 / 92,127人)

《実績》

最終実績値(H27末) 77.2%(70,979人 / 91,949人)

② 下水道による浸水対策達成率

浸水対策完了済み面積(ha) / 浸水対策を実施すべき面積(ha)

当初現況値(H23当初) 15.4%(422.0ha / 2,739.4ha)

最終目標値(H27末) 15.5%(425.9ha / 2,739.4ha)

《実績》

最終実績値(H27末) 15.5%(424.5ha / 2,739.4ha)

6. 事業費

全体事業費 (補助金の交付対象となる事業費)

内訳 A 下水道事業(従来からの補助対象事業費)

・ 下水の排除流量が2m³/日以上 of 管路整備費用

B 関連社会資本整備事業(道路事業等)

C 効果促進事業(Aの下水道事業と一体的に行う末端の下水道支線整備費用)

・ 下水の排除流量が2m³/日未満の管路整備費用

※ 平成26年度までが対象

	《計画》	《実績》
全体事業費	2,308百万円	2,154百万円
内訳 A 下水道事業	2,167百万円	2,052百万円
B 関連事業	-	-
C 効果促進事業	141百万円	102百万円